

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

【施設名】：やすらぎの家デイサービスセンター（認知症対応型通所介護）

【日 時】：令和8年9月14日(月) 10:30～11:30

【場 所】：やすらぎの家デイサービスセンター

【出席者】：

利用者代表	0名	市高齢者福祉課	1名
利用者家族	1名	事業所職員	1名
地域代表	2名		

【議題】

1. デイサービスの利用状況について
2. 行事・活動について
3. 令和7年度ヒヤリハット・苦情相談について。今後の課題。
4. 意見交換

●利用状況について

【令和8年8月末現在 利用登録者22名の状況】

性別	男性 2名	女性 20名			
介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
分布	11名	7名	3名	1名	0名
利用頻度	週5日	週4日	週3日	週2日	週1日
	0名	2名	9名	9名	2名
平均年齢	79.5歳（昭和1ケタ2名、昭和10年代4名、昭和20年代6名、昭和30年代1名） 75歳～94歳				
平均介護度	1.76				

●行事・活動について

【実施状況】

3月	誕生会、外出（河津桜、くすのき広場、豪農屋敷つるし雛、馬木不動尊、斐川菜の花畑）、彼岸ぼたもち作り、調理、ボランティア歌の会
4月	外出（駅南赤川沿い、やよいの森、市役所だんだん広場、出雲ドーム、斐川公園、一畑薬師 花まつり、三刀屋 御衣黄、出雲高校つつじ）、遠足（荒神谷公園）、おやつ作り（よもぎ団子、みかんの皮煮、どらやき）、お別れ抹茶会、ボランティア歌の会、調理
5月	外出（大社大祭礼 参拝、馬木不動尊）、遠足（荒神谷公園）、誕生会、ボランティア歌の会、おやつ作り（水ようかん）、調理
6月	誕生会、笹巻、外出（浜遊自然館 花菖蒲、大社 茅の輪くぐり、荒神谷公園、荒神谷 古代ハス、斐川図書館）、マジックショー、水害時避難訓練、ボランティア歌の会、調理

7月	おやつ作り（かしわ餅）、七夕、外出（須佐 出雲風穴）、誕生会、調理
8月	誕生会、納涼祭、ボランティア歌の会、調理

【今後の主な行事】

9月	火災避難訓練、長寿お楽しみ会、シルバーウィーク外出、十五夜だんご作り
10月	出雲大学駅伝観戦、阿須利神社 お祭り、芋ほり、出雲一中職場体験実習
11月	三谷神社 お祭り、神在月 万九千神社 参拝、紅葉外出、誕生会
12月	誕生会、クリスマス会、忘年会、大掃除

●令和7年度ヒヤリハット・苦情相談報告

1年間のヒヤリハットを時間帯と起こった場所でまとめてみると、転倒（ヒヤリ回避含め）は、朝の到着時間の移動時、玄関で気を付ける、日中は、トイレ出入口、つかまる所が少ない和室への移動時に気を付ける、と見えてきて、今後の対策として注意喚起している。

苦情相談としては、苦情として家族から言われたものではないが、こちらとして今後気を付ける際にスタッフ間で共有しておきたいため、残すようにしている。

第3者委員さんからは、ヒヤリハットも苦情相談も、職員それぞれが、自発的に自ら記録として残し、再発を防ごうとしているところを評価されており、細かなことも記録に残すようにしている。

夏の猛暑の期間、なかなか外出が難しく、出かけていなかったのですが、この頃は朝の到着時の近所へ散歩や、日中の活動の中に散歩を取り入れている。こうやって歩くことで、本人も元気になったつもりで自宅で一人で動く方も多く、まだ足腰がしっかりしない時期（散歩を再開して数日）に、自宅で転倒、運悪く骨折されたケースが今月2件ありました。

デイサービスで運動、歩行を、としっかり動いていることが、自分で動ける気持ちにもなるが、見守りが必要な状態。だいたいこういった動き始めた時期の自宅での転倒が起こりやすいと考える。

●意見交換

【市高福課】

サービスの開始、利用開始はどういったケースが多いですか？

【事業所】

初めてのサービス利用の方が多く、出かける事に消極的な方で、出かけるまでが大変そうなケースだと、短時間利用から始めていることもあり、ケアマネジャーから当事業所へ紹介されるケースが多い。時に、近所の方が認知症だったが、やすらぎの家に調子よく通っていた話を聞いて利用者側からやすらぎの家を指定されるケースもある。いずれにしても、見学を兼ねてどんな所か見に来てもらうようにしている。見学に来て、女性ばかりいることで男性の方は断わられることがよくある。

【市高福課】

デイサービスからグループホームに行かれるケースは多いですか？

【事業所】

ギリギリまで在宅で、と平日をデイサービス、週末や用事のある時にショートステイをつかい、特老申請をして入所を待つケースがほとんど。グループホームも負担額が多いことであまり行かれないし、

空きもあまりないように聞いている。特老の順番がはやく周ってくると聞く。

【地域ボランティア】

うちも親の介護をしていた。デイサービスに通い、お風呂は訪問入浴に来てもらっていた。最後は病院に入った。

【地域ボランティア】

家族が亡くなり一人暮らしになったため高齢者住宅へ入居した友人がいるが、思っていたのと違う面があると話す。利用負担が大きいことも話していた。

【事業所】

認知症専用のデイサービスが、もともと16ヶ所あったが、どんどん減り6ヶ所になっている。

【地域ボランティア】

大津のバイパスの下の所もいつの頃からか閉じておられる。使う人が少ないのか？

【市高福課】

小規模多機能型施設ですね。デイサービス・ショートステイ・ヘルパー訪問を同じスタッフ・同じ場所で行うことで安心してサービスを受けられる小規模多機能施設、それも市内では減っている状態。小規模多機能型施設を知らない人も多く、すぐに入所へとステージが変わるケースが多い。

【事業所】

働く人が少ないこともあると思う。

利用者は認知症でも、一般型のデイサービスで過ごせるなら、利用単価が低いので、家族としては負担が少ない方がいいということもあり、認知症専用のデイサービスへの利用が減り、事業所がどんどん減っている状態だと思われる。小規模多機能型施設へ移行するケースもあるが、ケアマネジャーが変わる、デイサービスもここを止めて新たに小規模へ、となると家族としても、新たな関係づくりの壁があるようです。

【家族】

うちはおじいさんが98歳で今年亡くなり、介護保険申請をして結果が出るまでの一月の間に、1週間だけ介護が必要だったが、自分でトイレへ行きたいとオムツの使用もほとんどなかった。なので、おばあさんには少し早めからサービスの利用を始めようと4月から利用。いまだに毎朝行きたくなくて、色々理由をつけてくる。入院した時から紙パンツに変えたが、いまだに布の下着を探し、家にいると朝昼晩とそれ以上に同じことを何度も下着の事を説明している。

家での姿と、ここでの姿がまるで違い、田部家へ手伝いの見習いに入っていたことが自慢、お茶を点てることも上手なので、ここでさせてやってほしい。

【事業所】

もうすぐ敬老のお祝い会で抹茶会もあるので、ぜひ活躍してもらいます。

行事といえば、今週は火災避難訓練もあり、水消火器を使つての訓練は、前回利用者の方がやりたいという声が多く、今回も予定しています。ご近所の方もよかったら訓練参加してください。

水害時の避難訓練では、この土地が低いことで、大雨豪雨の時に、トイレの水が流れなくなるため、紙おむつをトイレの中に敷き、災害時トイレの訓練もしています。紙おむつがいなくなったからとよく寄付していただきますが、この頃は災害時に使えるからとっておくよう伝えています。

災害時等、何かあった時は、近所の方々の助けが必要になります。お互いに助け合っていきたいです。